

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(3年計画の2年度目)

1. 研究課題

(和文) 元代雑劇の研究

(英文) A study on Zaju drama in Yuan dynasty

2. 研究代表者

(氏名) 金文京

3. 研究期間

平成 23年4月 から 平成26年3月 まで

4. 研究目的 (400字程度)

中国元代に流行した雑劇(いわゆる元曲)は、中国におけるもっとも早い本格的な演劇であり、また脚本が現存するもっとも早い戯曲文学でもある。ただしその大部分は、次の明代になって刊行または書写されたものであり、後代の改変を多くこうむっている。元代当時のもとの姿を伝えるのは、『元刊雑劇三十種』に収める三十の作品があるのみであるが、このテキストは誤字脱字が多いうえ、台詞がほとんどなく、歌詞のみを記しているため、難読をもって知られている。そのためこれまで中国で三種類の校注本が出版されているが、不明の箇所はなお多い。本研究班はこの点に鑑み、『元刊雑劇三十種』を精読することによって、綿密な校注および日本語訳を作成することを目的とする。

5. 本年度の研究実施状況 (400字程度)

本年度は、『元刊雑劇三十種』のうち、「張千替殺妻」雑劇を講読し、訳注を作成した。開催日時と担当者は下記のとおりである。

4月16日 「張千替殺妻」第一折前半 担当者 佐藤晴彦

5月7日 同上 第一折後半 担当者 荀春生

6月12日 同上 第二折前半 担当者 高橋繁樹

7月16日 同上 第二折後半 担当者 高橋文治

9月24日 同上 第三折前半 担当者 竹内誠

11月12日 同上 第三折後半 担当者 土屋育子

12月26日 同上 第四折前半 担当者 松浦恒雄

2月29日 同上 第四折後半 担当者 赤松紀彦

6. 研究成果の概要 (400字程度)

班員全員の共著である『元刊雑劇の研究(二)一 貶夜郎、介子推』を汲古書院から刊行した。

また謝金によって『元刊雜劇三十種』のデジタル化入力を行った。

7. 共同研究会に関連した公表実績（出版、公開シンポジウム、学会分科会、電子媒体など）
なし

8. 本年度の共同利用・共同研究の参加状況

区分	所属機関数	参加人数	延べ人数
学内	2	2	16
国立大学	2	2	16
公立大学	3	3	24
私立大学	2	3	24
大学共同利用機関法人	0	0	0
民間・独立行政法人等	0	0	0
外国の研究機関	0	0	0
(うち大学院生)	(0)	(0)	(0)
計	9	10	80

※当該年度の共同利用・共同研究参加者の所属機関数、参加人数、延べ人数を区分に応じて記入して下さい。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入して下さい。

※参加人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出して下さい。

(例)

- ・1つの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した場合）：参加人数2人、延べ人数6人

9. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

論文数	6
上記のうち国際学術誌に掲載された論文数	2

※研究者がファーストオーサーであること。学内の紀要等に掲載されたものを除く

なお、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された論文がある場合、その雑誌、掲載論文、そのうち主な論文の詳細等

掲載雑誌名等	論文名	発表者氏名
『国際漢学研究通 訊』第3期	試論「董解元西廂記諸宮調」之語 言藝術風格	金文京